

会員各位

日本ファイナンス学会
第30回記念大会プログラム委員会
委員長 白須 洋子

日本ファイナンス学会 第30回記念大会のご案内ならびに報告論文の募集

日本ファイナンス学会第30回記念大会を下記要領にて開催することとなりましたので、ご案内申し上げますとともに、研究論文の報告を募集いたします。今回は30回の記念大会となります。ご希望の方は、2022年2月24日（木）までに大会ホームページ上で申込み手続きを行ってください。

大会開催日時／会場

日時：2022年6月4日（土）～5日（日）

会場：青山学院大学・青山キャンパス17号館他（予定）

JR線「渋谷駅」・地下鉄線「表参道」駅（いずれも徒歩10分程度）

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25

https://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/access.html#anchor_01

※コロナウイルスの感染状況によっては、オンライン開催又はオンラインとの併用開催に変更する可能性がございます。遅くとも1か月前までに決定予定ですが、状況により変更が開催日の直前となる可能性もございます。鉄道・宿泊などを予約されてキャンセル料が発生する場合には、大変恐れ入りますが、各自でご負担くださいますようお願い申し上げます。

大会報告応募資格

論文報告者は次の方に限ります。

① 正会員（個人）

② 特別賛助会員からは3名、法人会員からは1名を限度に、大会開催時点において会員組織に属している方（申し込みについては各会員様のご担当者に取りまとめをお願いしています。申し込み前にご担当者もしくは大会事務局にお問い合わせ下さい。）

上記①、②に該当しない場合でも応募できますが、その場合、報告が認められた際には学会へ入会申し込みを行い、必ず大会当日までに会費を納入してください。ただし共著者、討論者、招待者はこの限りではありません。

大会報告希望申込要領

(1) 報告申込み用のページを2021年12月1日（水）に開設予定です。以下のURLの大会webページからお申し込みください。

<https://nfa-net.jp/post-report/submit2022/>

(2) 報告申込みにあたってはフルペーパーが必要です。Webページの指示に従って、報告者や共著者情報、希望討論者情報等を入力の上、フルペーパーのPDFファイルをアップロードしてください。

(3) 審査プロセスを円滑なものにするために、報告申込みの際には発表言語（①日本語、②英語、③日本語でも英語でも可でプログラム委員会に一任）を選択してください。③日本語でも英語でも可でプログラム委員会に一任を選択した場合、発表が後述の英語セッションに組み込まれる可能性があります。

(4) 「報告テーマ分野」の一覧の(1)から(27)の中から、論文の内容を最も良く表すと思われるものを二つ以上選択してください。一覧はこのお知らせの最後にも掲載してあります。

(5) 希望討論者を1名の記入を必須としますが、実務家の方に限り、希望討論者を指定できない場合は「分かりません」とご記入ください。大学院生は、指導教員に報告の了解を得た上で、指導教員のアドバイスを得るなどして希望討論者を必ず記入ください。

(6) 応募の締切りは**2022年2月24日（木）**とします。着信した申込みには「発表申込確認メール」が送られます。申込み後1日たっても返信が届かない場合には、文末の第30回記念大会事務局までお問い合わせください。

(7) プログラム委員会において報告内容を審査し、発表申込者に諾否を**2022年4月中旬**までに通知する予定です。また、審査のうえで必要だと判断された場合、研究報告内容に関してより詳細な追加情報の提供を求めることがあります。

(8) 報告が認められた際には、大会で他の論文の討論者をお願いすることがあります。

(9) 申込者が多数の場合、同一者による同一大会における複数報告は制限する場合があります。

その際は、応募時の論文の完成度がより高いと考えられる論文報告を優先します。

- (10) 発表申込み時の論文を採択後に改訂したい場合は、修正後の論文の PDF ファイルを **2022 年 5 月 16 日 (月)** までに必ずアップロードしてください。なお、例年よりもアップロードまでの期間が短くなっておりますのでご注意ください。

大会報告当日、報告論文

- (1) 期日までに提出された最終フルペーパーは、大会ホームページにも掲載され、学会正会員は大会の前後を問わず、ダウンロードすることができるようになります。
- (2) 大会での報告時間は、討論・質疑応答を含め 40 分を予定しています。ただし、申込者数によっては報告時間を調整する場合があります。プログラムの概要決定後、プログラム委員会は発表者・討論者・座長にセッション概要を伝えます。

英語セッション

英語での報告・発表を積極的に推奨いたします。引き続き、英語論文／報告だけのセッションを設けますので、ご希望の方は是非お申込みください。また、内外の研究者で、英語での研究報告を希望される方をご存知でしたら、お声がけください。

第 30 回記念大会特別企画：若手研究推奨特別セッション

第 30 回記念大会特別企画として、優れた若手研究者の研究論文最大 4 本（英語論文、英語報告も可）を「若手研究奨励特別セッション」（仮称）で報告して頂き、その中でも特に優れた最大 2 本は「若手研究推奨論文」とし、学会 HP で公表すると共にその要旨を『現代ファイナンス』に掲載します。若手研究者の優れた論文を早期に広く周知することで、若手研究者を応援いたします。詳細は次のとおりですので、ふるってお申し込みください。

- (1) 大会報告申込の際に同時にお申し込みください。
- (2) 原則として、執筆者全員の年齢が 2022 年 4 月 1 日現在で 45 歳以下であることが条件です。大会申込の際、執筆者全員の年齢をお知らせください。ただし、執筆者全員が実務家の場合、年齢制限はありません。報告論文及び学会報告は日本語でも英語でも構いません。
- (3) 大会報告応募時の論文で一次審査を行い、本セッションへの参加論文最大 4 本が決まります。本セッションでの報告・発表後、討論者・座長・プログラム委員等の協議により若手研究奨励論文最大 2 本を決定します。なお、該当論文がない場合もあり得ます。
- (4) 本セッションにご応募頂いたが報告論文に選定されない場合は、一般報告セッションへの報告申込みとなります。
- (5) 決定後は、若手研究推奨論文として速やかに学会 Web ページで公表し、『現代ファイナンス』に学会発表の要旨として掲載します。掲載は邦文です（英語論文の要旨は日本語にしてください）。英文タイトルを併記することはできます。また、『現代ファイナンス』の掲載にあたっては、最終稿でなくワーキングペーパー/プロシーディングの要旨である旨を表示します。よって、最終稿を他の学術雑誌に投稿することを妨げるものではありません。

*

*

*

報告テーマ分野

- (1) Asset Pricing (2) Fixed Income Securities (3) Equity Markets (4) Derivatives
- (5) Corporate Finance (6) Mergers; Acquisitions; Corporate Restructuring (7) Corporate Governance
- (8) Market Microstructure (9) Risk Management (10) Banking and Financial Intermediaries
- (11) Portfolio Choice; Investment Decisions (12) International Finance (13) Monetary Economics
- (14) Alternative Investments (15) Mathematical Finance (16) Financial Econometrics
- (17) Behavioral Finance (18) Experimental Finance (19) Accounting (20) Real Options
- (21) Insurance (22) Fund Management (23) Credit Risk (24) Real Estate (25) Commodities
- (26) Social Investment/ESG (27) その他(ファイナンスに関するもの)

<問合せ先>

日本ファイナンス学会 第 30 回記念大会事務局

(担当：中川・小林)

〒160-8519 東京都新宿区南元町 19

一般社団法人金融財政事情研究会 内

Tel:03-3354-2377 Fax:03-3359-7947

E-mail: nfa2022@nfa-net.jp